

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ワンハート					公表日	2025年3月24日
	チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3		テーブルや車イスの置き場所を活動内容に合わせて考えて配置している。	国の定めるスペースを確保しております。活動内容によって広いスペースが確保できるようベッドや柵の配置の見直しを行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		国の定める基準の配置をしている。職員全員でフォローしている。ヘルプの要請に対応をすぐしてくれる。	送迎で一時的に手薄になることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		1	室内、トイレに手すりを設置している。トイレの手すりは、福祉用具専門業者に点検を行って頂いている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			活動に合わせて机や椅子等を移動させ、空間の確保に努めている。毎日の清掃、アルコール消毒を行い、衛生管理に努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	1	必要に応じて個別で部屋を使用したりパーテーションで場所の確保をしている。	今後も活動に応じて環境を設定していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	1	PDCAサイクルで職員が話し合い、周知できるよう努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		1	保護者向け評価表を活用し、保護者様の意向に努めている。	今後も保護者様の意向を把握し、業務改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		1	活動の前後で職員ミーティングを行い、意見交換する機会を設け、振り返りを行いながら業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	2		現在、利用者様と社内評価のみになっている。今後、必要に応じて実施検討をしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	1	内部研修及び外部研修への参加の機会を広くもっている。内部研修では、定期的に行い、職員の資質向上に努めている。	パート職員への研修の機会を多く作っていきながら見直しを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		1	保護者向けアプリやホームページ公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		1	定期的に面談をし、アセスメントを適切に行っている。子どものニーズや課題を保護者と一緒に確認した上で、計画を作成している。また職員での支援会議で計画内容について話し合いを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	1	定期的にミーティングや会議を行っている。職員間で面談内容を共有し、支援会議を行ったうえで個別支援計画を作成している。	パート職員のミーティングや会議の機会を多く作っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			職員間で活動の前には計画に沿った支援の確認を行っている。また提供記録の作成時にも振り返りを行い、共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	1	基本はフォーマルなツールを用いたアセスメントを活用しているが、状況に応じて日々の行動観察のケア記録を行い、アセスメント作成時に活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		1	ガイドラインに従い、5領域を踏まえ、本人支援、家族支援・移行支援等具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	1	活動担当を決め、チームで立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		2	季節や流行を取り入れながら楽しい気持ちで育むことができるよう職員で話し合いを行いながら毎月、プログラムを立案している。		

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		2	子どもの状況に応じて個別の活動を設定している。また、集団活動の機会も設け、個別支援計画の作成や支援の提供を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	2	常勤職員で打ち合わせをしている。活動前に非常勤職員へも支援内容や役割について確認をし、支援を行っている。	パート職員の話し合いの機会を多く作っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	3	常勤職員で振り返りについて業務日報の報告を行い、共有をしている。	パート職員を含め、フィードバックの機会が定着できるよう話し合いの機会を多く作っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	1	日々の支援に関しては毎日記録を徹底して行っている。支援会議にて日々の記録から振り返り、支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		1	年2回のモニタリングを行っている。また状況によりそれ以上のモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		2	子どもが意欲的に取り組める活動内容を設定し、「できた」、「嬉しい」等の成功体験を積み、自己肯定感を育む支援を提供している。また外出やクッキング等の体験の機会を提供を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		1	活動の中で自己選択できる環境や機会を作っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		2	サービス担当者会議や関係間との会議では、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	2	必要に応じて医療機関や学校との会議に参加したり、相談支援専門医との情報共有を行ったりして連携が取れる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		2	各学校の年間行事や下校時刻等把握している。学校と連携を取りながら連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	2	ご要望に応じて実施している。会議や文書等により、情報共有や相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	9		1	移行するための会議に参加し、支援内容等の情報を提供している。また事業所内で移行をする際には、必要に応じて文書だけでなくご本人と一緒に直接説明をする機会を設けている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	2		必要に応じて助言や研修を受ける機会を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	2		今後の課題として検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	2	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		1	保護者様向けのアプリで保護者様とやり取りを行い、利用時毎の様子を写真付きで報告している。また、送迎時に状況をお伝えしたり、必要に応じてお電話でお伝えさせていただいたり共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	2		相談事があった場合等にその都度、情報を共有し、アドバイスをさせていただいているが、要望があればペアトレ等を行ってきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		2	契約時に運営規程と利用者負担等について説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		2	面談にて子どもや保護者様の意向を確認し、ウェルビーイングの向上に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		2	面談時に個別支援計画の説明を行い、作成し、保護者様から同意を得てサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		1	悩みに対する相談は随時行っている。保護者様との関係を大切に、相談しやすい雰囲気作りを心がけている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	5	1		現在父母会は行っていない。今後の課題として検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		1	契約時に苦情の窓口を案内している。苦情があった場合、苦情受付、解決担当につなげ、迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。また、また社内でも共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		1	「株式会社波音」のホームページ Instagram、保護者向けのHUGのマイページにて随時掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管している。破棄書類はシュレッダーで処理を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			ご利用児童様、保護者様の状態に応じて分かりやすい伝達方法を工夫し、意思疎通に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	1		イベント等の企画をする時には地域住民の方と交流を深める機会を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	1	マニュアルを策定し定期的に研修を行っている。年間計画を策定し発生を想定した訓練を行っている。	保護者様へのマニュアルの周知を図っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		1	BCPを策定し随時更新している。BCP委員会を開催し、他事業所との連携をはかっている。定期的に避難訓練や、防災について学ぶ機会を設けている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			契約時や面談時にて服薬やてんかん発作等について状況確認を行っている。また服薬状況や予防接種、体調面での状況の変化についても確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			食物アレルギーについては、契約時に把握している。また食事提供を行う際には、保護者へ提供内容や食品表示の確認をして頂いた上でやっている。アレルギー対応のマニュアルを策定し、職員で共有し、対応を行っている。必要に応じて医師にも確認をして頂いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		2	安全計画を作成し、定期的に必要な訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	2	安全計画に基づく活動の取り組みについては保護者様向けアプリの内の活動案内で報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		1	ヒヤリハットを作成し、改善に努められるよう報告書を作成している。職員間で共有し再発の防止に努めている。虐待防止委員会で各事業所のヒヤリハットを共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			外部研修にスタッフが参加している。また社内でも虐待防止委員会を設置し、内部研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		1	契約時に説明を行い、同意書を頂いている。また、必要に応じて面談時に保護者様に了解を得た上で、個別支援計画書に記載している。		